

# 2017年度 IBカナダ研修

8年 アンデス組 芹澤愛瞳



私は今、玉川学園中学部、IBコースに所属しています。昨年の10月26日～11月5日まで、カナダ研修がありました。IBコースのカナダ研修は一般クラスとは一味違って、ナナイモにある玉川の校舎での生活はもちろん、現地：バンクーバーにあるIB校と「IBサミット」をしたり、その学校の先生に案内されて観光スポットに行ったり、後半はそれぞれのホストファミリーと楽しい時間を過ごしたりしました。その様子を写真とともに紹介したいと思います！



初日：これは、バンクーバー空港に着いた時の写真です。大きなトーテムポールが立っています。ここからはもう日本語なしの世界です。飛行機ではみんな興奮していて、ほとんど寝ていませんでした(笑)



ナナイモにある、玉川の校舎です。あたり一面の芝生に、二階建ての宿舎、メインの校舎、ログハウスがあります。朝は霧がかかっていることもあり、宿舎に入りきらなかったトレーラーハウス生活の人はコートを着たまま寝ることも。ちなみに私もその一人でした。



二日目：ここは、バンクーバーにあるWild Life Recovery Centerで、ボランティアの方々が様々な理由で保護された動物たちの面倒を見ている。その方々から、世界の動物の現を状を教わり、自分たちにできる解決策を考えました。



敷地の掃除をした後は、校舎の裏の下り坂を降りたところにある湖で、皆さんお待ちかねのカヌー！三人グループになって、自由に湖を散策しました。カヌー初体験の生徒も多く、帰ってくるのに15分かかった人たちもいました(汗)



三日目：明日のIBサミットに向けて、ログハウスの掃除や飾りつけを全員で協力してやりました。今年度は(結局はあまり成功とは言えませんでした)、今までなかった歓迎のダンス(?)を生徒自ら考え、夜遅くまで練習しました。経験者として、個人的な意見ですが、来年度は全員で踊れるダンスを考えればよかったな、と思っています...



四日目：いよいよIBサミット本番です！全員でログハウスの前に並んでお迎えしました。一時間遅れでスタートしたIBサミットは、玉川学園紹介ビデオから始まり、三時間半という短い間で環境問題、ごみ問題など深刻な世界の現状に向き合い、自分の持っている英語のスキルをぶちまけてきました！やはり最初は、現地の生徒の英語のレベルの高さに圧倒される生徒が大半でしたが、少しずつ慣れていき、最後は笑顔で手を振ることができました。この日で、ナナイモの玉川キャンパスにもお別れです。



この日は、一大イベントも終わり、ナナイモからバンクーバーに戻って、ブリティッシュコロンビア大学と、少し足を延ばした観光をしました。崖っぶちからの見渡す限りのきれいな景色に、みんな慌ててシャッターを切っていました。ここでの集合写真は、この研修中の集合写真で一番カナダの自然を感じさせる写真になりました！



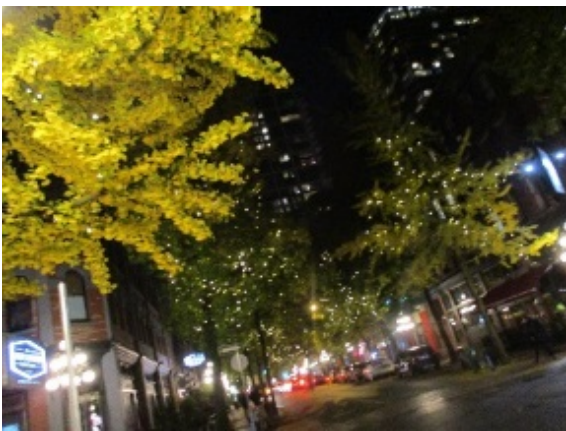
移動のバスからそわそわ緊張...ホームステイ先の‘STRATFORD School’という学校につきました！体育館に入ると、1家庭ずつそれぞれのホストファミリーに引き取られていきました。大体の女子は誰かが呼ばれるとその子に「頑張ろうね、また明日ね！」とみんなでハグをしたりして、おたがいほんのちょっとずつ緊張が解れました♪



これは、私のホストファミリーともう一家庭で、ハロウインの日に‘Trick or Treat’をした時の写真です。みんなの家の近所を歩くので、途中いろんな玉川の生徒に会ったりもしました。日本では滅多にない、超本格的な「本場のハロウイン」を見た気分です。



建国から150周年を迎えたカナダは、‘CANADA 150’というシアターがあります。私達の中には入りませんが、人気の写真スポットで集合写真を撮りました。この日は、バンクーバーが貿易で栄えている都市であること、冬のオリンピックが開催されたことについてなど、カナダの歴史にすこし触れることができました。



11日間もつかの間、最後の日は、午前授業でおわり、午後からはそれぞれの家庭で楽しい時間を過ごしました。生徒の約半数が行ったという有名な‘Fly over Canada’は、ライドアトラクションのような3D映像で、空を飛んでカナダの旅をしているような気分になれる、いろんな景色や表情を見せてくれる、素晴らしい乗り物です。そこに行ったり、他にも別の家庭と混ざってトランポリンで遊んだり、ご飯を食べに行ったり、ショッピングをしたりなど、思う存分遊びました。カナダの夜景は、周りの建物や気温、聞こえてくる音など、カナダでしか感じられないものがありました。ですが、みんながホームシックになった時には、一番星を見つけて、「この星は日本から来たんだ、ママとパパもこの星を見たんだ」そんな風に、世界中どこでも変わらない何かを感じることができました。

8年のIB生、計46人での「カナダ研修」は、もう二度と戻ることのできない、一生忘れられない貴重な体験、そして素晴らしすぎる思い出という全員の宝物になりました。

## このカナダ研修を通して...

カナダ研修から日本に帰ってきてから、理科や数学、社会の授業中に「これ、カナダで習った・覚えたんだよねーだからわかるんだー」というような声を聞くようになりました。ただ「海外、カナダに行った」で終わるんじゃなくて、向こうに行ったことでなにか得るものがあったかというのが大事なんだと思いますが、それがまさに先ほどの発言なんじゃないかなと思います。学んだものは英語だけではなく、日常生活におけるマナーはもちろん、なにかも自分で自分の面倒を見る、いわゆる「自己責任」、恥ずかしいと思う自分の殻を破って自分を見せなきゃ何も伝わらないということ、そして笑顔はやっぱり全世界共通だということ、言葉がわからなくても、伝えようという気持ちがあれば伝わること、これら全部が学んだことです。これからIBコースでDPに向かって、英語のレベルで壁にぶつかったり、勉強とその他の両立など自分が「できない！」と思うことが数えきれないほどあると思いますが、そんなときはカナダのIBサミットを思い出して頑張ろうと思います。